



就労継続支援 B 型事業所
ワーカーズホームからの最新情報をお届け

ばっぺーる通信

No.06Vol.03

ばっぺーる通信とは…ワーカーズホームの活動報告やお知らせなどを皆さまへお伝える通信です。興味を持って読んでくださったらうれしいです。そしてコーヒーを注文していただけるともっとうれしいです。

「ばっぺーる」店長Talk

地域のイベントに出店します

ワーカーズホームはネパールの依存症回復支援施設の方と協力し、コーヒーや紅茶を仕入れて販売をしています。昨年には首都カトマンズにカフェをオープンする準備にも関わりました。そんななかとご縁のあるネパールですが、先日、沖縄ネパール友好協会の方に声をかけていただき、ネパールの新年をお祝いするイベントに参加することができました。

ネパール暦では今年は2079年で、4月13日が年の始めというところで、その日は那覇市の若狭公民館に大勢のネパールの方、日本の方が集まりました。私たちはそこでネパールから仕入れたコーヒーと紅茶を販売しました。日本の方はじめネパールの方に購入していただけたのはとてもうれしいことでした。

私たちには夢があります。それはネパールのコーヒー、紅茶を始め私たちの商品を購入でき、飲むことができるカフェをオープンすることです。そしてそこにはネパールのコーヒー、紅茶、スパイスや雑貨などを販売するスペースがあり、沖縄に住むネパールの方々が気軽に自国の物を購入しそこからコミュニティが広がっていくことです。先日の新年のお祝いパーティーではその雰囲気を楽しむことができ、夢が実現に向かうイメージを持つことができました。

今後も積極的に地域のイベントに出店していく予定です。どこかで「ばっぺーる珈琲店」を見かけたときはお気軽にお声かけください。

今月のよきできごと



先日、東京、中野で全日本社会貢献団体機構さまより2019年度特別助成の内定証をいただきました。これは現在私たちが進めている「コーヒー豆の栽培・販売を通して依存者の社会復帰を支援する」プロジェクトに対していただいたものです。

今年度中にはカフェをオープンする予定です。首を長くしてお待ちください。



↑ WHメンバーがネパールの方と記念撮影。この直後、彼女のパートナーがわざわざ駆け寄ってきたのはナイショです

→南風原イオンで行われた農福連携マルシェで採れたコーヒー豆が大人気でした



←ネパールの新年をイベントでは、店長がネパールからコツコツ買ったガラクタが初めて役に立ちました。大喜び!



ワーカーズホームの商品はこちらからお買い求めいただけます。→



ばっぺーる通信 No.06Vol.03
2019年5月1日発行
発行 一般社団法人むら
沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28
電話 098-955-1692
Eメール info@muraokinawa.org
Web muraokinawa.org

事業所拡大に伴い利用者募集中!

ワーカーズホームでは事業所拡大につき利用者を募集しています。
身体、知的、精神に障害を持つ方、若年性認知症の方、アルコールや薬物、ギャンブルなど依存の問題を持つ方が現在利用し、男女比では男性3割、女性7割と女性が多く利用しています。作業内容はコーヒー豆の選別、焙煎、袋詰め、販売のほか、コーヒーでの作業があります。ご自身のその日の体調に合わせて作業を決めていただきます。利用時間は午前10時から午後四時までです。宜野湾市内とその近隣への送迎を行っています。見学、体験利用はいつでもお受けしていますのでお気軽にご連絡ください。
電話 098-(955)1692